

國學院大學學術情報リポジトリ

和田利政先生略年譜並びに主要著述目録

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 國學院大學国語研究会 公開日: 2025-06-02 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 小田, 勝 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.57529/0002001696

和田利政先生略年譜並びに主要著述目録

小田 勝 編

略年譜

大正十四年二月十二日

東京府南多摩郡小宮村（現八王子市）に生まれる

昭和十五年四月

東京第一師範学校入学

昭和二十三年三月

東京第一師範学校卒業

昭和二十三年四月

町立日野中学校教諭

昭和二十三年四月

國學院大學文学部第二部国文科入学

昭和二十四年四月

國學院大學文学部国文学科に転部

昭和二十六年三月

國學院大學文学部国文科卒業

昭和二十六年四月

國學院大學文学部第二研究室助手

昭和二十九年三月※

國學院大學文学部兼任講師

昭和三十年三月※

國學院大學文学部専任講師

昭和三十年四月

東京学芸大学兼任講師（昭和三十八年三月まで）

昭和三十六年三月※

國學院大學文学部助教授

昭和四十三年四月

國學院大學国内派遣研究員（昭和四十四年三月まで）

昭和四十四年四月

國學院大學文学部教授

昭和五十二年四月

昭和五十四年十二月

昭和五十七年四月

昭和五十七年十一月

昭和五十九年四月

平成二年七月

平成七年三月

平成七年四月

令和四年六月十九日

(※は三月三十一日付け)

國學院大學學生部長（昭和五十三年三月まで）

大分大学教育学部兼任講師（昭和五十五年三月まで。昭和五十六年十月から昭和五十七年三月まで。昭和五十八年十月から昭和五十九年三月まで）

國學院大學大学院文学研究科講座担当委嘱

東京都立大学兼任講師（昭和五十八年三月まで）

別府大学兼任講師（昭和六十年三月まで）

國學院大學国語研究会会長（平成七年七月まで）

國學院大學定年

國學院大學文学部名誉教授

逝去（享年九十七歳）

主要著述目録

- 「源氏物語の謙遜語―補助動詞「聞ゆ」と「奉る」について―」（『日本文学論究』一〇号、昭和二七年七月）
- 「假字遣奥山路」における違例の考察」（『国語研究』二号、昭和二九年二月）
- 「昭和二十九年における国語学界の展望（承前） 四、国語学一般（総記・語法）」（『国語学』二二輯、昭和三〇年九月）
- 「源氏物語の「申す」（『國學院雜誌』五七卷七号、昭和三二年十二月）
- 「『す』の研究」（『国文学 解釈と教材の研究』四卷二号、昭和三三年十二月）
- 「『さす』の研究」（『国文学 解釈と教材の研究』四卷二号、昭和三三年十二月）
- 「ばや・かし・も の研究」（『国文学 解釈と教材の研究』四卷九号、昭和三四年六月）
- 「源氏物語の「仕うまつる」（『國學院雜誌』六一卷七号、昭和三五年七月）
- 「昭和35・36年における国語学界の展望 文法―国語史（古代）―」（『国語学』四九集、昭和三七年六月）
- 「学研国文法」（田辺正男と共著、学習研究社、昭和三九年二月）
- 「る・らる（付、ゆ・らゆ）―古典語―」（『国文学 解釈と教材の研究』九卷一三号、昭和三九年一〇月）
- 「よい」と「いい」（『口語文法講座3 ゆれている文法』明治書院、昭和三九年一月）
- 「とはずがたり」の敬語―御形容詞・覚え給ふ―」（『國學院雜誌』六八卷一二号、昭和四二年一二月）
- 「助動詞を中心とする表現上の問題（1）―受身・可能・使役・希望の表現―」（『国文学 解釈と教材の研究』一四卷七号、昭和四四年七月）
- 「学風と学問 松尾捨治郎『国語法論攷』（『文法』一卷一、二号、昭和四四年八月）
- 「『あざる』考」（『国語研究』三三三号、昭和四七年三月）
- 「『覚』一本平家物語における「―奉る」と「―参らす」について」（『今泉博士古稀記念国語学論叢』桜楓社、昭和四八年三月）

- 『国文法要説 文語篇』（森昇一・岡崎正継と共著、桜楓社、昭和四八年四月）
- 〔学叢閑歩⑦〕胡散』（『國學院大學學報』二〇〇、昭和五〇年十一月）
- 「小久保崇明著『大鏡の語法の研究 続』（『国文学論考』（都留文科大学国語国文学会）一三、昭和五二年三月）
- 「今泉忠義主要論著目録』（『国語学』一〇九集、昭和五二年六月）
- 「今、思うことども』（『國學院雜誌 今泉忠義博士追悼号』七八卷一一号、昭和五二年十一月）
- 「敬語の分類と敬語補助動詞』（『田辺博士古稀記念 国語助詞助動詞論叢』桜楓社、昭和五四年八月）
- 『国語要説』（金田弘と共著、秀英出版、昭和五六年四月）
- 「〔新刊紹介〕『馬淵和夫博士退官記念国語学論集』（『月刊言語』一〇卷一〇号、昭和五六年一〇月）
- 「〔すくよか〕考』（『國學院大學大学院紀要（文学研究科）』一四卷、昭和五八年三月）
- 『国語要説 新訂版』（金田弘と共著、秀英出版、昭和五八年四月）
- 『古語大辞典』（中田祝夫・北原保雄と共編、小学館、昭和五八年二月）
- 「助動詞・助詞はどう変遷したか』（『国文学 解釈と教材の研究』二九卷八号、昭和五九年六月）
- 『日常語面白事典 びっくりワード・ウォッチング ちよっと変だぞ、あなたの日本語』（21世紀ブックス、主婦と生活社、昭和六一年四月）
- 『国語要説 三訂版』（金田弘と共著、秀英出版、昭和六一年四月）
- 「〔談話室〕いたたく・たまわる』（『國學院雜誌』八七卷七号、昭和六一年七月）
- 「形容詞の機能』（『国文法講座2 古典解釈と文法 活用語』、明治書院、昭和六二年四月）
- 「いざ給へ・あなかま給へ・や給へ』（『此島正年博士喜寿記念国語語彙語法論叢』、桜楓社、昭和六三年一〇月）
- 『旺文社古語辞典 改訂新版』（松村明・山口明穂と共編、旺文社、昭和六三年一〇月）

- 『旺文社国語辞典 第八版』（松村明・山口明穂と共編）、旺文社、平成四年一〇月）
- 『国語要説 四訂版』（金田弘と共著、秀英出版、平成六年三月）
- 『成語大辞苑』（西岡弘・桜井満・川崎渕・ひろさちや・北村孝一と共監修、主婦と生活社、平成七年九月）
- 『故事ことわざ知識辞典』（監修、主婦と生活社、平成八年十一月）
- 『故事ことわざ名言名句辞典』（監修、主婦と生活社、平成八年十一月）
- 『旺文社国語辞典 第九版』（松村明・山口明穂と共編、旺文社、平成一〇年九月）
- 『発会のころ』（『国語研究 國學院大學国語研究会創立五十周年記念号』六四号、平成一三年三月）
- 『旺文社古語辞典 第九版』（松村明・山口明穂と共編、旺文社、平成一三年一〇月）
- 『もつと使いたくなる日本のことば』（監修、主婦と生活社、平成一四年九月）
- 『国語要説 五訂版』（金田弘と共著、大日本図書、平成一五年一月）
- 『田邊先生をしのびまつる』（『国語研究』六六号、平成一五年三月）
- 『旺文社国語辞典 第十版』（松村明・山口明穂と共編、旺文社、平成一七年一〇月）
- 『旺文社古語辞典 第十版』（松村明・山口明穂と共編、旺文社、平成二〇年一〇月）
- 『旺文社国語辞典 第十一版』（山口明穂・池田和臣と共編、旺文社、平成二五年一〇月）
- 『旺文社古語辞典 第十版増補版』（松村明・山口明穂と共編、旺文社、平成二七年一〇月）
- 『旺文社国語辞典 第十二版』（池田和臣・山本真吾・山口明穂と共編、旺文社、令和五年一〇月）